

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物及び什器備品…定額法によっている。
- (2) 消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	0	0	335,200,568
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	0	0	36,300,000
小 計	371,500,568	0	0	371,500,568
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	2,525,088	652,229	0	3,177,317
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,173,336	543	0	2,173,879
(3) 俳諧資料室事業引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	14,698,424	652,772	0	15,351,196
合 計	386,198,992	652,772	0	386,851,764

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
(1) 俳諧資料	335,200,568	(0)	(335,200,568)	(0)
(2) 基本財産引当資産	36,300,000	(0)	(36,300,000)	(0)
小 計	371,500,568	(0)	(371,500,568)	(0)
特定資産				
(1) 退職給付引当資産	3,177,317	(0)	(3,177,317)	(3,177,317)
(2) 俳諧資料購入引当資産	2,173,879	(0)	(2,173,879)	(0)
(3) 俳諧資料室事業引当資産	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
小 計	15,351,196	(10,000,000)	(5,351,196)	(3,177,317)
合 計	386,851,764	(10,000,000)	(376,851,764)	(3,177,317)

4、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	397,844,566	219,610,194	178,234,372
建物附属設備	27,552,000	1,920,323	25,631,677
什器備品	30,386,484	22,887,697	7,498,787
合 計	455,783,050	244,418,214	211,364,836